



松心会館で開催された関西支部総会



平成23年度中部支部総会

中村成男氏（第61回卒）は、平成二十三年六月「第一線で業務に精励している者で、他の模範となるような技術や事績を有する者」として認められ黄綬褒章を受章された。現株式会社大成住宅社長

関西支部第十七回定期総会・懇親会を、平成二十三年六月十八日（土）に大阪府門真市「松心会館」において、同窓会本部から平野会長以下二役員、太田母校教頭、県大阪事務所長、大阪県人会会長の来賓を仰ぎ開催した。

本年は特別招待として、戦後の母校硬式野球部第一期黄金時代を築いた故鷺野監督のご息女で、京都市にお住まいの一條様ご夫妻をお迎えした。監督の当時の写真や家庭人としてのお人柄や子供から見た父兄像など、グランドでは知ることのできないエピソードなどをご披露された。

一方、教え子である山内（昭29卒）、石川（昭30卒）両氏からは、高校での監督の厳しさや甲子園での思い出話があり、「母校甲子園出場の足跡」などの資料を前にして、会場は往年の母校そのままの雰囲気に包まれた。

また、大津一晃氏（第56回卒、元県療師協会専務理事、現東海療師協会理事）からは、人間の諺証不思議な神秘性を見せられ、日々を健康に過ごす要としての手足や身体の関係をわかりやすく、

足が退任し、これまで副支部長だった宗野治義氏（昭32年卒）が支部長に新たに就いた。

総会では、今年が役員改選期にあたり、永い間（六期十二年間）支

部長を務めた海野昭氏（昭30年卒）が退任し、これまで副支部長だった坂本博英氏（昭32年卒）が支部長に、また新しく副支部長に吉澤英集した。

第21回静商同窓会関東支部総会・懇親会開催される

ことしも、平成二十三年七月九日（土）十二時、東京プリンスホテル前庭の「ガーデンアイラン

ド」にて開催される。

定する等の結果、平成二十年九月の復活初回の懇親会は出席者も二十五名と、久々に賑わいを見せました。また、「静商同窓会中部支部だより」という三つ四ページの新聞を二十年十月に創刊し、今年七月七号まで発行しました。今後は同窓会をサロン（談話室）と考

えサロンに来たら静岡という故郷に戻ってきた時のよう、ほつとする雰囲気したいと考えています。（文は中部支部委員瀧口政俊さん三十年卒）

問い合わせ先

関西支部幹事長 富坂誠一

電話 072-699-0266

Eメール seitomisaka@maia.eonet.ne.jp

中部支部

藤枝支部をはじめとした実業界、そして公務員、政治行政界で多くの卒業生が活躍いたしております。

昨年、支部長の山村議員が急逝して以来、支部活動を自粛してまいりましたが、本年五月に藤枝地区の静商卒業生は多く、地元の特産品であるお茶関連の経営者をはじめとした実業界、そして公務員、政治行政界で多くの卒業生が活躍いたしております。

藤枝支部は、毎年一回の総会と適宜ゴルフ会を開催してまいりました。

藤枝地区の静商卒業生は多く、地元の特産品であるお茶関連の経営者をはじめとした実業界、そして公務員、政治行政界で多くの卒業生が活躍いたしております。

藤枝支部は、毎年一回の総会と適宜ゴルフ会を開催してまいりました。

藤枝地区の静商卒業生は多く、地元の特産品であるお茶関連の経営者をはじめとした実業界、そして公務員、政治行政界で多くの卒業生が活躍いたしております。

藤枝支部は、毎年一回の総会と適宜ゴルフ会を開催してまいりました。

藤枝地区の静商卒業生は多く、地元の特産品であるお茶関連の経営者をはじめとした実業界、そして公務員、政治行政界で多くの卒業生が活躍いたしております。

藤枝地区の静商卒業生は多く、地元の特産品であるお茶関連の経営者をはじめとした実業界、そして公務員、政治行政界で多くの卒業生が活躍いたおります。

藤枝地区の静商卒業生は多く、地元の特産品であるお茶関連の絏営者をはじめとした実業界、そして公務員、政治行政界で多くの卒業生が活躍いたおります。

藤枝地区の静商卒業生は多く、地元の特産品であるお茶関連の絏営者をはじめとした実業界、そして公務員、政治行政界で多くの卒業生が活躍いたおります。